

# ともづな

第13号

発行所  
黒川まさる  
政務調査事務所  
TEL045-781-9580

## 発表・黒川まさるのローカルマニフェスト 愛する金沢・横浜再生プラン2

金沢区や横浜市が抱えるこれからの市政の課題を解決し、区民・市民のみなさんが安心してしあわせに暮らすことが出来るように、私は4年前「愛する金沢再生プラン」と題してローカルマニフェストを発表し、昨年の秋に金沢公会堂で早稲田大学マニフェスト研究所の北川正恭教授に同席いただいて検証をさせていただく場を設けました。(検証結果の詳細はともづな①号に掲載されており、ホームページ上でご確認ください。)



また、前回のローカルマニフェストを作成したときと同様に、昨年の春から夏にかけて、再度「愛する金沢アンケート」を行いました。その結果やいただいた意見、いろいろな場面でみなさんからお聞きしたこと、4年間の議員としての働きなどを分析し、あらためてこのたび「愛する金沢・横浜再生プラン2」を作成いたしました。

現在、私たちは自民党として私たち自民党横浜市会議員団では、横浜市政の舵取りの羅針盤としてよこはま自民党独自のローカルマニフェストを作成しており、私もそのプロジェクトチームの中心メンバーとして携わっています。議会の中で自民党として取り組む具体的な政策や議員提案条例などについては、よこはま自民党のローカルマニフェストに掲載いたしますので、私のローカルマニフェストは、それ

ぞれの政策課題に対し、より踏み込んだ内容にしました。

マニフェストとは、自分自身の政策を発表・宣言し、市民のみなさんとの間で取り交わす契約書のようなものです。これからの4年間において市会議員として実現させていく政策を明らかにさせていただき、みなさんと約束した政策の実現に向けて正面から取り組んでまいりますことを誓います。

### プラン① 地域交流

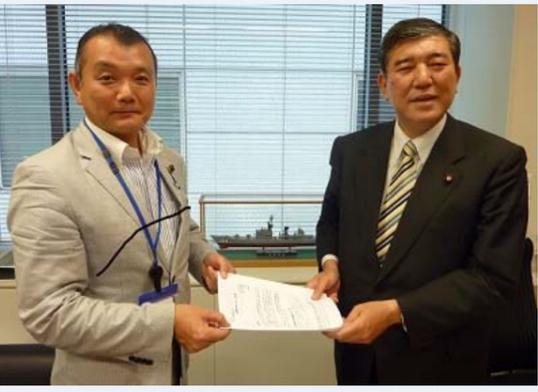
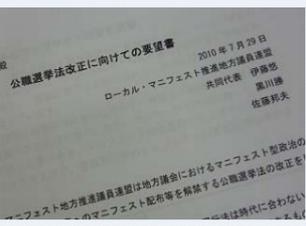
高齢化社会が進展することによって、行動範囲が狭まるお年寄りにとっては、狭い範囲で市民生活がある程度完結するコンパクトシティという発想が必要となってきます。少子化と共に小学生の人数も減少していることを念頭に、引き続き小学校を活用した地域コミュニティの拠点作りを提案します。

具体的には、空き教室を活用して近所のお年寄りが集って世間話や頭の体操などができる憩いの場とする。子育てママがベビーカーとともに集まり、子育ての悩みや相談が出来る場とする。子供たちがお年寄りや子育てママたちと交流をして、昔話を聞いたり、赤ちゃんと触れ合う場を作ったり保健の先生から健康講座などを開講してもらう。地域の大人たちの仕事を子供たちが体験したり、仕事の話を聞く機会を設ける。といった事業が考えられます。地域のみなさんの協力と、学校の努力だけで大きな予算をかけなくても出来る政策ですが、「地域コーディネーター」や「地域交流室」といったアイデアも定着にはまだまだ工夫が足りません。今回のマニフェストでは、私は金沢区内のすべての小学校を訪問し、学校関係者や地域のみなさんと話し合い、その結果をホームページなどを通じて発表するとともに、議会でも実現に向けて働いてまいります。

## ローカルマニフェスト推進地方議員連盟の共同代表として、公職選挙法の改正を国に対して提言しました。



民主党の幹事長室にて、手塚仁雄副幹事長は、自民党石破幹事長は、議員会館を訪ねて、議長官舎に猛勢で、政務官には意図的に、法改正の意図を公衆の目に、政治の透明性を高めることを目指す。その意図を公衆の目に、政治の透明性を高めることを目指す。その意図を公衆の目に、政治の透明性を高めることを目指す。



### プラン② 権限委譲

地方分権が進むとそれぞれの都市が個性ある政策を打ち出し、都市間競争の時代が始まります。横浜のような360万人の人口を抱える巨大都市では、横浜市全体として大都市政策を展開すると共にそれぞれの区が独自の政策を立案し実現していくことが求められます。そのため必要なのが区への権限委譲です。横浜市全体で共通する政策や、スケールメリットを活かして行う政策は、横浜市役所で立案し、地域の特性を活かした経済政策や、観光政策、きめの細かい高齢者福祉や子育て支援策などは区役所を中心に地域の実情を鑑みて進めるべきです。地域の実情を把握し、適切な政策を立案する際にキーマンとなるのはそれぞれの区から選出された地方議員だと私は考えます。日頃から地域で活動する人々や団体、企業や子供たちと接し、悩みや問題を共有している私たちだからこそ解決できる仕組みが必要なのです。提言にとどまっている現状の区民会議や、行政の報告を追認するだけの区の議員団会議のような形骸化した会議でなく、区としての意志決定を図り、地域課題を解決していくシステムを構築いたします。

### プラン③ 議員改革

横浜市会議員の意識改革は、4年間で大きく進んだと感じています。政務調査費の全額の領収書の提出義務や、費用弁償の廃止は、透明な政治でなければ市民からの信頼は得られないと言ったことを示しています。議員の活動を補佐してくれる議会局機能の強化や、特別委員会の改革は、議会が政策発信能力を高めることに役立っています。今後、地方分権をさらに進めるためには、市長や行政に対抗できる能力や権限を議会が持つことで、二元代表制を強化することが必要です。

今後さらに改革を進めるためには、議会・議員・行政・市長・市民などそれぞれの関係や役割・責任を規定し、議会や議員が自信と責任を持って職務を果たせるように「議会基本条例」の制定に取り組むべきと考えています。また、政策立案から政策実践・実現に向けてさらに議員提案の政策条例には積極的に取り組んでまいります。具体的な条例案については「よこはま自民党の政策マニフェスト・責任と約束」をご確認ください。



# プラン④ 経済育成

私が取り組む経済育成政策は、たとえ規模は小さくても、地域に根ざして一生懸命頑張っているお店や会社に元気になってもらい、横浜経済を力強く活性化させていくことです。

昨年3月に私たちが作成・提案した「横浜市中企業振興基本条例」は、行政が中小企業の育成政策にこれまで以上に真摯に取り組む大きなきっかけになりました。また、前回のマニフェストで取り上げた「横浜地域貢献企業認定制度」も認定企業が百社を超え、企業間交流も盛んになり、誇りを持って地域に貢献し企業活動も積極的にしている会社が増えつつあると実感しています。

中小企業が元気になるための政策については、この「横浜市中企業振興基本条例」に基づいた政策を行政が立案し、実効を上げているかを確認・検証することが大切です。そのためにも私自身の目標として、毎年十社、四年間で四十社の地域に根ざして元気に頑張る会社を訪問し、社長さんや従業員のみならずナマの声を聞かせていただき、ホームページや機関誌で報告することを約束いたします。また、経済政策や企業の振興政策は、それぞれの区で担当する部署を創るべきだと考えています。それぞれの区には特徴があり、例えば金沢区と中区と緑区の経済振興政策を市役所だけで一律に立案するには無理があります。巨大都市横浜としてのスケールメリットも大切ですが、経済政策は各区ごとのきめの細かい政策運営が必要だと。

# プラン⑤ 観光振興

横浜市の観光拠点として、大きな可能性を秘めているのが金沢区です。きれいになった海や川、能見台から釜利谷・朝比奈に至る大規模な緑地など、自然環境も豊かです。称名寺や瀬戸神社・富岡八幡宮など鎌倉時代以来の歴史資産、江戸時代は広重の金沢八景で知られる景勝、明治から昭和初期の別荘など、歴史的な資産も豊富です。観光・商業スポットとしては八景島やベイサイドマリナーだけでなく、今後は米軍施設跡地や、南部市場、金沢八景駅前なども観光拠点になります。

これらをネットワーク化し、市民団体や大学、鉄道会社などとも連携して、金沢区全体を面で捉えて観光振興を図る必要があります。

東京に宿泊して横浜には日帰りで観光に来るといふ旅行者が、横浜に宿泊して金沢に観光に来てもらうことは可能です。私は、この実現のために、今後新たな勉強会を関係者のみなさんと共に立ち上げることを計画しています。



それぞれの条例案をピクトグラムでわかりやすく表現しています。



よこはま自民党では、次の4年間に実現させていく政策を「責任と約束・2011よこはまピクト化計画」として、ローカルマニフェストにまとめました。若手議員を中心に組織された作成プロジェクトチームのチーフリーダーは政調副会長の黒川勝が務めました。ピクトとは、ピクトグラムの略で、絵文字などを用いて情報を誰にでもわかりやすく伝える手段です。政治を誰にでもわかりやすいものにすべきたというよこはま自民党の意志を表現しています。地方分権時代に、横浜の政策は、横浜の自民党で立案・実行しようとして、7つの条例案と5の政策が記載されています。よこはま自民党のホームページや各議員の事務所でも入手できます。

よこはま自民党が、はじめてローカルマニフェストを発表します。

金沢区民のみなさんからいただいたアンケートの結果は、これからの政策立案に必ず活かしてまいります。

# 愛する金沢アンケートの結果を分析しました。

- Q1. 金沢の好きなところは？**  
 豊かな自然・・・70.9%  
 中世以来の史跡・・・41.7%  
 交通の便が良い・・・40.8%
- やはり金沢区の魅力は観光資産でしょうか。
- Q2. 高齢者への行政サービス**  
 老人ホームや老健施設・・・37.7%  
 健康を維持する施設・・・35.3%  
 高齢者雇用の充実・・・29.1%  
 社会参加できる情報・・・29.1%
- 不況を反映してなのか、生き甲斐や仕事を求めるニーズが増えています。
- Q3. 初等教育に望むこと**  
 道徳心、公共心の涵養・・・58.6%  
 情熱ある教員の採用・・・50.3%  
 活発なスポーツや部活・・・29.4%
- 学力よりも教師の質や道徳・公共心・部活動などを充実すべきです。
- Q4. 女性の社会進出・子育て**  
 保育園を増やす・・・56.3%  
 育休制度などの強化・・・29.1%  
 女性の社会復帰支援・・・29.1%
- 保育施設の不足は深刻です。子ども手当などの経済的支援は4年前よりも激減しています。
- Q5. 防災対策で知りたいこと**  
 震災時の行政支援策・・・60.2%  
 耐震補強などの助成・・・33.0%  
 避難場所などの情報・・・25.7%  
 非常食備蓄場所や量・・・25.7%
- 災害時の行政の対応や災害を防ぐための政策が求められています。
- Q6. 駅前の再開発**  
 駐車、駐輪場の整備・・・54.0%  
 役所の出先機関・・・30.6%  
 買い物場所の充実・・・29.1%
- 再開発は不要だとの意見も4年前に比べて2倍以上の12.6%もありました。
- Q7. 横浜市議員への要望**  
 高齢者福祉政策・・・43.7%  
 市の財政の健全化・・・42.2%  
 環境問題への取り組み・・・30.1%
- 行政や市長のチェック機能は22.8%で4年前から半減です。政策への関心が高まっています。
- \*\*\*アンケートの詳細はホームページをご確認ください。\*\*\*

市民に関われた、わかりやすい政治を目指す、黒川まさるに対する期待、要望、激励、メッセージなどをお寄せください。

返信FAX 045-786-4310

お名前 \_\_\_\_\_

ご連絡先 \_\_\_\_\_

ご連絡いただいた方にはお返事をさせていただきます  
 (住所・メールアドレス・FAX番号・何でも結構です)